

「これからの学校生活様式」

2020.6.15

春日井市立松原中学校

※大前提：学校生活ではマスクを着用する。

最低でも片手間隔の身体的距離を確保する。

共用物を扱った後は、必ず手を洗う。

体調がすぐれない時、熱がある時は家で休養する。

昨年度までと学校での「生活様式」が変わる場面をまとめました。この生活様式は、暫く(1・2年程)続くと思われますので、1日でも早く、しっかりと身に着けてください。

- (1) 登校・・・「密」にならないことを意識して身体的距離を確保しながら登校する。2m以上の距離を確保できる時は、マスクを外してもよい。冗談でも接触しない。
- (2) 朝のST前・・・健康観察カードに問題がない場合は、脱靴室から教室まで身体的距離を確保しながら速やかに移動し、教室前で手を「消毒」して入室する。ロッカー・机の中に荷物を整え、健康観察カードや提出物を所定の位置に提出し、自席で読書等を行い静かにSTの始まりを待つ。健康観察カードに問題がある時は、職員室前に行き問題を解決する。体調がすぐれない時は、そのまま調理室に移動して、教師の対応を待つ。
- (3) 放課・・・基本的に「次の授業の準備」の時間だが、会話等での身体的距離の確保に注意する。冗談でも接触しない。
- (4) トイレ・・・トイレには消毒してから入り(便座除菌シートも利用可能)使用後は、手洗いをしっかりする。できれば消毒もするとよい。
- (5) 教室移動時・・・移動した教室等の前で、手を消毒し入室する。授業中に使用した器具については、教師の指示で消毒する。教室に戻った時は、しっかり手洗いをする。廊下での移動時も身体的距離の確保に注意する。(右側通行)
- (6) 給食準備前・・・「手洗いタイム」中に、しっかりと手洗いをする。給食当番を優先させる。身体的距離が確保できない時は順番を待つ。
- (7) 給食準備・・・当番以外の生徒は、机上を片付け、清潔な布巾を敷き、箸等を準備して静かに配膳を待つ。配膳では、お盆等で運んできたものを自分の分だけ取る。食べられないもの、減らすものがある時は担任に申し出る。自分で勝手に減らさない。給食の増量やお茶は、教師がビニル手袋をつけて取り分ける。
- (8) 給食当番・・・配膳室前では、身体的距離を確保して並ぶ。自分の分担品を持ったら、右側通行で速やかに教室に運ぶ。教室では、個々の取り分けをする生徒はビニル手袋をつけ行う。取り分けられた給食は、お盆に乗せ個々の机を回り、個々に取ってもらう。当番は自分の分を前から持っていく。配膳室に食器等を返す時も、右側通行で身体的距離を確保して行動する。

- (9)昼放課・・・過ごし方は「身体的な距離の確保」を基本とする。話をする時は、特に身体的距離の確保に注意する。運動場での活動は「接触しない活動」のみ可とする。冗談でもわざと接触しない。クラスの遊具を使用する時は、使用後にしっかりと手を洗う。手洗いの時間も考えて行動する。遊具は、帰りST後に担任が消毒する。キャッチボール、テニスなどの接触しない運動も可とする。その場合は、運動場東側または北側で行う。移動、手洗いの時間を考えて行動する。部活動での個人持ちの道具の使用を許可する。消毒等は自分で考えて行う。身体的距離の確保を意識する。図書館については開館するが、当面貸し出しは行わない。図書室での読書のみとする。書籍の自然消毒期間が72時間と言われているので、当面は週初めと週終わりのみの開館とする。図書室の一度の入室人数を30人以内に制限する。図書室で私語を話さない。後ろに振り向いたりしない。立ち読みはしない。
- (10)清掃・・・基本的に雑巾は使用しない。キッチンタオルを使用する。使用したキッチンタオルは、その都度捨てる。基本的に個々の机・椅子は消毒しない。(気になる生徒は担任に申し出る) 箒・モップ等で床を直接触らないように清掃する。トイレ掃除は業者に委託しているので生徒は行わない。ただし、トイレ前の手洗いはビニル手袋を着用して清掃を行う。清掃終了後は、全員、手洗いタイム中に、しっかりと手を洗う。
- (11)帰りST後・・・教室からの移動は、時間差移動で行う。脱靴室では、身体的距離の確保に注意する。冗談でも接触しない。
- (12)部活動・・・顧問の活動計画に従って活動する。身体的距離の確保に注意する。冗談でも接触しない。共用道具・器具を使用した後は、手洗い・消毒を行う。準備・片付け・手洗い消毒を含めての活動時間を守る。各部の分散下校時間に従って下校する。
- (13)下校・・・「密」にならないことを意識して身体的距離を確保しながら下校する。2m以上の距離を確保できる時は、マスクを外してもよい。冗談でも接触しない。
- (14)その他・・・自分の持ち物は自分のロッカー・荷物入れ・机の中で管理する。(水筒は集めない)
傘は、教室に持ち込まず、脱靴室の傘立ての指定された位置に置く。

☆ 授業においては、活動の仕方がそれぞれ異なるので、場面毎に教師からの指示に従ってください。

☆ どの場面でも、臨機応変に「身体的距離の確保」を行ってください。

☆ どの場面でも、困ったことや疑問に思うことは、どの先生でもいいので、すぐに伝えてください。